

⑩ ユニセフ写真展 紛争下の子どもたち

写真パネルと実物資料の展示と説明
世界で頻発する紛争やそれらに伴う貧困などにより子どもたちの生命の危機が迫っている状況を学び、ユニセフ等の国際機関がどのような取り組みを行っているか知る機会とします。

9/1(木)～9/5(月)

千里文化センター「コラボ」(新千里東町)
【千里地域連携センター ☎6831-4133】

⑪ ヒューマンライツコンサート

「平和」「人権」を基調とした音楽演奏と、それらにかかわる背景などの説明。

9/19(月・祝) 14時～15時30分

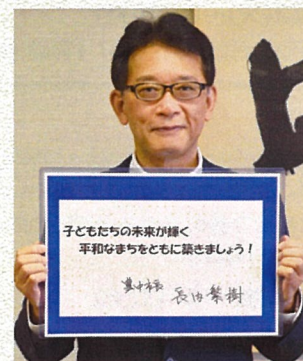
出演者：アンサンブル・サビーナ 定員：40人

申込方法：8月22日(月)～8月26日(金)までに
電話、市HPから申込。抽選あり。

螢池公民館(螢池中町) 【同館 ☎6843-5561】

ごあいさつ

◆◆◆ 豊中市長 長内 繁樹 ◆◆◆



豊中市は、昭和58年(1983年)10月15日に「非核平和都市宣言」を行い、全国の346自治体で組織する「日本非核宣言自治体協議会」(昭和59年(1984年)8月5日加盟)の役員市として、さらには、世界166カ国・地域8,174都市により構成する「平和首長会議」(平成22年(2010年)3月1日加盟)の一員として、国内外のさまざまな都市と連携を図りながら、核兵器の廃絶と恒久平和の実現に向けて取り組みを進めています。

また、本市では毎年8月を「平和月間」と定め、展示企画や講演会などの催し物を通じて、市民のみなさまに平和について考えていただく機会を提供しています。戦後77年・被爆77年を迎え、戦争や被爆体験の継承はますます重要になり、自治体が果たす役割もさらに大きくなっています。

今後も失われつつある戦争体験や被爆体験の次世代への継承に努めるとともに、安心して暮らしていける地域社会の実現のために取り組みを進めていく所存でございます。市民のみなさまにおかれましても、さまざまな催しを通して感じられたことを、ご家族やご友人などとお話いただき、平和の輪を広めていただきますようお願いいたします。

令和4年(2022年)7月1日

平和展示室

豊中市が行っている「非核平和都市宣言」に基づき、戦争の惨禍と平和の尊さを後世に伝え、平和で平等なまちづくりに寄与するため、空襲に視点を置いた展示室です。

展示室1では、約3メートルの米軍戦闘機P-51主翼(右翼)の一部や、1トン爆弾の実物大の模型を、市民から寄贈を受けた戦争遺品とともに展示しています。

展示室2(映像室)では、豊中空襲の被災体験や広島・長崎での被爆体験、戦後混乱期の証言を聞くことができます。

展示室3(企画展示室)では、パネルを展示しています。

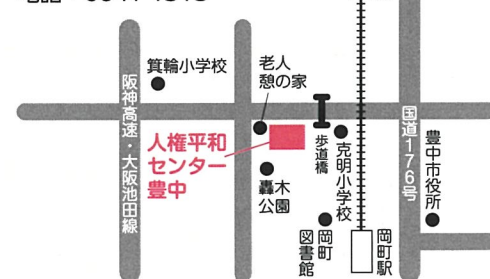
ロビーでは、平和に関する絵本100点以上を集めました。ぜひ一度、お立ち寄りください。

開室時間：月曜～土曜日 9時～17時(祝・休日は除く)

人権平和センター豊中 3階

住所：岡町北3-13-7

電話：6841-1313



【豊中市非核平和都市宣言】

真の恒久平和と安全な願いは人類共通のものである。

しかしながら、核軍備競争は依然として続き、今や人類は自らを破滅させる危機に直面している。わが国は世界で唯一の被爆国として平和を望む全世界の人々とともに人類の安全と生存のため核兵器廃絶に向けて積極的な役割を果たさなければならない。

豊中市は日本国憲法にうたわれている平和の理念を基調に、非核三原則の厳守を求め、核兵器廃絶を訴え、平和と安全のために貢献する決意と共に、市内での核兵器の生産、貯蔵、配備はもちろん、その通過を許さないことを表明し、ここに非核平和都市となることを宣言する。

昭和58年(1983年)10月15日宣言

豊中市

令和4年度(2022年度)

非核平和宣言都市

とよなか

嘉代子桜植樹式(人権平和センター豊中)

人権平和センター豊中3階 平和展示室

平和月間事業一覧



前年度「平和と人権啓発パネル展」の様子(青年の家のいぶき)

「翌朝の悲しみ」(被爆体験証言者/大林芳典 作/丸住裕香 所蔵/広島平和記念資料館)

令和4年度(2022年度)
平和標語入賞作品

テーマ 核も戦争もない平和な世界

【優秀賞】 平和とは戦争もない核もない

【佳作】 日本が核無き世界の先頭に

【佳作】 小さな親切和を作り
みんなの平和に広がる様に

豊中市・豊中市教育委員会

